

# B 妊娠指導

近年、この国では深刻な少子化が問題となっている。

それに反して、若者の人工妊娠中絶件数は横這い。  
一向に減る兆しを見せない。

これに対して国は特別法案を可決。

『過去3年以内に中絶手術をした者の実名を公開し、所属する学校・地域・職場などにおいて妊娠指導を義務化する』

この法案により、あらゆる学校で生徒の履歴が洗い出された。

# B 妊娠指導

私立貝柱●学校。

このクラスでも、法改正の影響により、二人の女生徒が槍玉に挙げられていた。

先生「えー、本クラスでは津久浦アヤカ、前川こはる……」

この2名が妊娠指導の対象です。

早速ですが本日から男子生徒達は協力して

この2名を妊娠させてあげるようにお手伝いしてあげてくださいね」

こはる「……っ」

アヤカ「……さいあく」

B 妊娠指導  
長いウェーブのかかった金髪のグラマー  
美少女アヤカはちっと舌打ちをした。

それとは対照的に、前髪をピンで留めた  
ショートヘアーのこはるは、  
オドオドと震えている。

男子生徒「はい！先生！質問です！」

先生「なんですか？」

男子生徒「妊娠の手伝いってことは、  
二人に対してはエロいことしまくり  
オッケーってことですか！？」

先生「はい。妊娠着床のために、精液を  
膈内に注ぐことはもちろんですが……  
気分を高めるための範疇であれば  
オーラルセックスやそのほかの愛撫も  
アドリブで行うことは認められる……と  
マニュアルには記載されていますね」

B 妊娠指導  
男子生徒「うっひょお……!!  
最高だぁあ!!」

男子生徒たちが品のない笑みを  
浮かべながら沸き立つ。

ガッツポーズをするものや、いやらしい  
目でアヤカたちを視姦するもの、

我慢できずにズボンの上から自らの  
またぐらを揉んだりしているものなど  
様々だ。

こはる(と……どうしよう。大変なことになっちゃった……)

3-B 妊娠指導

前川こはる。

おっとりした性格の癒し系。  
整った幼い顔立ちと、以外にも大きめの  
バストで一部の男子生徒から熱烈な  
支持を受けている。

津又浦アヤカ

一般的な中流家庭で育った彼女は、  
親友に誘われて深く考えずに  
パパ活に参加。

やや潔癖症の母親に育てられた影響から  
性知識には乏しく、一度目はコンドームの  
脱落。

二度目はパパ活相手の意図的な  
策略により穴あきゴムで……  
それぞれ妊娠。中絶を経験していた。

3-B 妊娠指導

※いずれも夏休み、春休みなど  
長期休暇期間であった為学校には  
バレていなかった

こはる(その後…ママとパパにほっぺが  
パンパンになるくらいまで  
打たれちゃったんだっとなあ……)

やっぱり赤ちゃんって大事なんだ……  
だからこんな法律が……)

本来やさしい性格である彼女だったが、  
流されやすい一面や自分の意見が  
言いづらい性格などもあり、  
一度目の中絶後は両親の激怒により  
パパ活をやめていた…。



だが親友から頼み込まれて再開……  
また辞めて、と繰り返していた。

男子生徒「前川さんって大人しそう  
なのに、結構オトナなんだな」

俺前川さんに筆おろしして  
もらっちゃおう!」

前のほうの席に座っていた男子生徒が、  
わざと聞こえるように発言をする。

こはる「~~~~~?」  
それを聞いてこはるはカァアッと頬を  
赤くして俯いた。



先生「こら! 質問以外の私語は禁止です。  
ほかに質問は……?」

教師がなだめると、クラスが一瞬にして  
静けさを取り戻した。

アヤカ(はあ、ダル……妊娠とか……  
またかよ。母親になる気なんて  
無いっつーの)

津久浦アヤカが深いため息をつく。  
彼女は自分の彼氏とのセックスで、  
一度だけ避妊がうまくいかずに妊娠。  
堕胎していた。

















